



ハルジオン(キク科) 根生葉は柄に翼がある。
(ヒメジョオンには翼がない)



オオイヌノフグリ(ゴマノハグサ科) 葉は卵形で
鋸歯があり、瑠璃色の小さい花をつける。



メマツヨイグサ(アカバナ科) ロゼットの中心
部はバラの花のようで、赤みを帯びる。



ツタバウンラン(ゴマノハグサ科) 葉は丸く
掌状に5～7つのくびれができる。



ガガイモ(ガガイモ科) 綿毛のついた実が
飛び出す。



スズメノカタビラ(イネ科) 小穂は卵形で円錐状に
集まる。



マンリョウ(ヤブコウジ科) 葉の脇に赤い実を
冬の間中つける。葉の縁が厚い。



ヤツデ(ウコギ科) 晩秋に白い花が咲き、冬に
実をつけ、春に黒く熟す。



アオキ(ミズキ科) 雌雄異株で、雌木の実は赤く
なって長期間残る。



ミズキ(ミズキ科) 枝は互生し、冬芽が大きい。



ミツマタ(ジンチョウゲ科) 節ごとに3つに
枝分かれする。蕾は冬の間を用意されている。



クマノミズキ(ミズキ科) 枝は対生し、冬芽は
小さい。



コブシ(モクレン科) 花芽が綿毛に覆われている。



カツラ(カツラ科) 冬芽は長楕円形で対生し、
上部は少し曲がって枝にくっつく。



キブシ(キブシ科) 冬芽は上向きだが、花は
下に垂れる。



モミ(マツ科) 葉先が2つに割れる。
(カヤは割れないでとがる)